

編集後記

生活科学研究所は、1976年（昭和51年）に人間科学部の誕生に伴う家政学部の発展的解消を機に、生活科学研究部として発足してから丁度今年度で40周年を迎え、研究所として改称した時からみても、30周年を迎える。そうした節目を迎える今年度の研究所紀要第38集は、編集にあたり投稿規程を遵守するように作業をすすめることとした。お陰様で、学内外の研究者や院生から多くのご投稿を頂き、本書が無事に刊行された。ご投稿を頂きました皆様のご協力に、心から感謝申し上げたい。

冒頭の追悼の辞でも述べさせて頂いたように、文教大学の元学長であり、生活科学研究所の組織設立の提案者でもある水島恵一先生が昨年7月にご逝去された。生活科学研究所は、今後も創設提案者である水島先生が目指されたように、人文・社会学的な面と自然科学的な面を融合させ、「生活している人間」という観点に基づく学としての生活科学の開拓と確立、そして学際的アプローチによる生活科学の探求を目指して参りたい。その研究活動の一環として、本紀要は今後も多様な専門領域の研究者による優れた研究成果の発表の場であり、かつ研究交流の機会ともなることを願っている。

生活科学研究所 所長 金 藤 ふゆ子